

板野中学校 同和教育だより

MY SKY No. 2

マイ・スカイ

2000年5月2日(毎月第1・第3火曜日)発行

発行者

編集・文責

同吉成正士

同次本知己

保護者のみなさん、保護者参観^{さんかん}、家庭訪問^{せいわ}、お世話になりました。ありがとうございました。今年の保護者参観は、来てくださった保護者の数が多かったような気がするのですが・・・めちゃくちゃうれしいですよ～！やっぱり子育ては、保護者の方々と、学校とが一緒^{いっしょ}になって見守っていくものですよね。保護者と学校、学校と子ども、子どもと保護者が、いろんな話をしながら、人間関係をつくりながら共に成長していければと思います。これからも、日頃のおつき合いから大切にしていましようね。どうぞよろしく！

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼

◇^{わたし}私たちが^{どうわきょういくだん}同和教育団「^{どうきょうだん}同教団」です。^{がくせん}まずは^{しゅう}学専三人衆から！

みなさんは、自分の学年の先生方とか、自分のクラスにきている先生方とか、自分の入ってる部活の先生方とか、自分に関わりのある先生方のことはある程度^{ていど}知ってるのだと思います。でも、そうでない先生方のことは、あまりよく知りませんよね。そこでここでは、私たちと一緒にがんばっている^{がくしゅうかいせんにん}学習会専任指導員^{しどういん}3人の先生方のことを紹介^{しょうかい}したいな～と思うんです。

ところでみなさん、学習会のことは知ってますよね。それでは学習会専任指導員でどんな仕事をしてるか知ってますか？学習会に行っているみなさんはわかっていると思います。でも、学習会に行っていないみなさんには分かりにくいかもしれません。

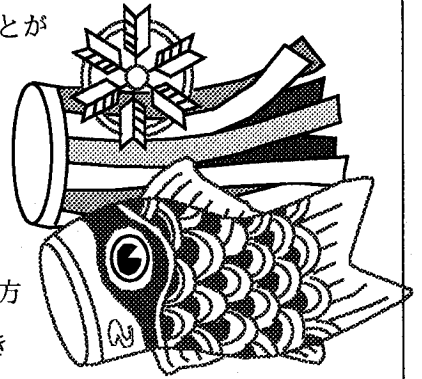
^{かんたん}簡単に言えば、^{おも}学専の先生方は主に^{かか}学習会に関わりのあるお仕事をしているんです。よくみなさんの中に、朝職員室に来て「学専の先生おらんの？」と言ってくれるお友達がいます。でも、学専の仕事って、学習会に行くことも大きな仕事の一つですから、仕事が終わるのが、どうしても学習会の終わる夜7時、8時になってしまうんですね。だからその分、朝は11時頃^{ごろ}の出勤^{しゅっきん}となっているんです。知っておいてくださいね。

また、家庭訪問が終わって落ち着いたら、学習会のことについても各学級で話し合うことがあるかもしれません。そのときに、いろんなことを学んでくださいね。それでは学専三人衆のお話のはじまり、はじまり～！

「自分と人権問題～学習会との関わりを中心に～」

学習会専任指導員 しみず 清水 優樹 ゆうき

中学生の時、初めて学習会の存在を知った。はじめは、どのような理由で学習会が行われているのか知らなかった。ただ、自分と仲の良かった友人も数人参加しており、そのような場が設けられていることを羨ましく思ったことが思い出される。しばらくして学習会の意味を知ったが、それ以前の学校生活(級友関係)となんら変わることはなかった。この度、板野中学校の学習会専任指導員となり、実際の現場で、しかも、内側から部落問題や人権学習に携わることができることは、人としての生き方や教師としての在り方を考える上で、自分にとって大きな財産になると思われる。



学習会において、私が、身につけてほしいと願っている力として、主に、次の二つが挙げられる。

一つめは、「物事を順序だてて考える力」である。自分の将来を見通したうえで、今、自分が取り組まなければならないことは何なのかを見つけられるようになってほしい。今が楽しければそれでいいというような刹那的な考え方が、一見格好良く見られがちな風潮があるが、そのことの恐さに気づいてほしい。

二つめには、「自分を大切にすること」が挙げられる。ここでいう自分を大切にすることは、いわゆる利己主義ではなく、それぞれの子どもたちがおかれた状況や立場を自覚しながら、それぞれの子どもたちが自分を養い伸ばしていくことである。人権学習などで、他人のことを考えることがよく強調されるが、自分を大切にせずして他人を大切にできるはずがないと、私は考える。

学習会の中に仲間意識を培いつつ、以上の二つを重点目標として、学習会に取り組んでいきたい。そのためには、子どもたちを見つめながら、家庭や地域社会との連携を強めることに努めたい。

「僕と部落問題の関わり」

学習会専任指導員 赤沢 健志

僕は2000年4月から学習会専任指導員として働くことになった。ご存知の通り学習会は今だになくなっていない部落差別というもので、被差別部落の生徒を対象に行っている。

僕が中学生の時にも学習会はあって、まわりの友達にも何人も学習会にいつている子はいた。僕は小学校の時にも道德の授業で、部落問題学習を学んでいたの、どうう子が学習会に参加しているか分かっていた。しかし、僕は「それがどうしたの?」という感じで、「この子達が何で差別を受けている立場なの?」と全く「差別」という言葉がピンと来なかった。でも、その反面、本当にこの世の中で、部落差別というものが存在していたら、とても恐ろしいことだなと感じた。

だが、22歳になってこの仕事について、1ヵ月で、部落差別というものの実態を色々々と知ってしまった。また、実際に差別発言にも直面した。特に結婚差別、就職差別の現状がひどいということも分かった。

僕は今思う。「何であの学校や学習会で会う、純粋な可愛い生徒達が差別されなければいけないのか?」「大人の世界とはそういうものなのか?」。生徒には、これから先、色々な夢を持って、無限の可能性の中で生きていつて欲しい。また、「人を好きになる」という人間の1番素晴らしい行為を、自由に束縛されずにして欲しい。

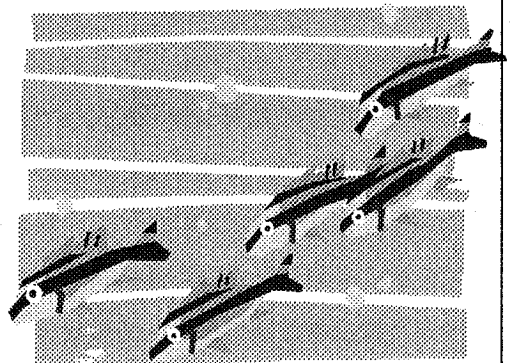
僕はこの仕事について、自分に何ができるのかと色々考えてみたけど、生徒には、「夢を持つこと」、「人を好きになること」は尊いことであつて、差別なんかに妨げられてはいけないということを教え、また、そういう差別をうけた場合には強い意志で立ち向かう生徒を作っていきたいなと思う。

「私と人権問題を振り返って」

学習会専任指導員 岡田千亜紀

ここでは今まで人権について学習してきたこと思い出しながら、私と人権問題について振り返ってみる。

私が最初に小学校で道德の時間にいじめの問題や部落差別について学習してきたから、大学



の講義で様々な人権問題について学習し、卒業した現在に至るまで人権について考えを深める機会はたくさんあったが、中でも一番印象に残っているのは中学時代の部落問題学習である。中学3年生の時に体育館でした全体学習は今でも思い出することができる。

中学3年生の時、始めはまわりのみんなも自分も全体学習のことについて他人事な部分があったように思い出されるが、卒業式を前にした全体学習はそれぞれ当初の思いとは違ったものを持っていたように感じられた。それは最後になった卒業式直前の全体学習が開かれる前日に友達が「最後の全体学習がんばろうな。来年もその先も、全体学習をやってってもらいたいけんその思いを下の子らに伝えたいんよ。」と私やその他の子に言って歩き回っていたことから確信したことである。最後の全体学習はいい全体学習にしよう、下の学年の子らにもがんばってってもらいたいというみんなの気持ちがひしひしと伝わってきた全体学習だったように思い出される。

あの時なぜみんなの気持ちが変わっていったのかを考えてみると、最初はごく少数の人しか発言していなかったのに、しだいにいろいろな人が発言していったことと関係していると思われる。全体学習の中で一つの呼びかけ、問いかけがあった時に意外なところから返事があつたりしたことを覚えている。意外なところからの返事というのは、普段顔を合わせても会話を交わさないような相手からの返事という意味である。全体学習を通じて普段では会話することの少ない相手と会話できたことがみんなの気持ちの変化に深く関係していると思うのである。それはそこにいる仲間を信頼していたからこそできたことではないか。自分の発言をみんなが聞いてくれている、自分の発言したことについて誰かが返事してくれると思えたからこそいろいろな人の発言があつたのだと感じている。

このような全体学習の体験は、自分にとって深く心に残っていることでもあるし、いろんな意味で財産であると思っている。全体学習を経験したことは、私の中の人権問題に対する考え方に大きな影響を与えている。あの時の全体学習の中で部落問題やその他の人権問題についてたくさんのことを得たと感じているし、何よりも仲間とのつながりの中で一人一人の権利について、自分の人権や仲間の人権について考えることのできたいい機会であつたといえる。

今年学習会専任指導員として母校である板野中学校に、あの全体学習をした中学校に帰ってきて、またあの時のような全体学習に参加してみたいという願いとみんなの財産

になるような全体学習にする手助け^{てだす}をしたいという思いを持っている。

どうですか、みなさん。ちょっと中学生のみなさんには分かりにくいこともあったかもしれませんが、雰囲気^{ふんいき}で感じてください。これから、次本先生や私・吉成のことについても少しずつ出していこうと思いますので、読んでくださいね。

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼



ぜんごう 前号に書いていた「原田大介作品展」^{はら だだいすけ}，私もこのゴールデンウィーク中に行つてこうと思っています。読んで反響^{はんきよう}もあったようで、うれしいです。こういった「たより」を書いてると、はんのう 反応がないと「みんな読んでどう思っているのかな〜」なんて思ったりするんですよ……。

ところで次号は、「いたずら・落書き」と「学習会解放子ども会」について書いてみようと思っていますので、楽しみにしててくださいね！

◇ これからの日程 ◇ ◇ ☆ ☆ ☆ ★ ★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ★ ★ ★ ☆ ☆ ☆ ★

- 5月3日(水) 板野町人権フェスティバル(10:00～；さくらホール他)→みんなで行こう！
- 9日(火) バス遠足(1年淡路花博，2年淡路花博，3年レオマワールド)
- 15日(月) 学習会解放子ども会(16:00～；総合センター)→学習会の仲間は集合！
- 20日(土) 第5回部落解放徳島県学習会中学生集会第1回実行委員会(14:00～；同センター)→学習会の希望者はみんなで行くぞ！
- 23日(火) 板中体育祭
- 29日(月)・30日(火) 中間テスト

